

朝風



第31号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 総務企画委員会
印刷 萩の郷福祉工場

スポーツ少年団の理念を忘れず活動しよう！～「NO！スポハラ」活動実施中～

仙台市スポーツ少年団本部長 吉田 尚



仙台市スポーツ少年団は、地域を基盤として「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」という理念のもと、『スポーツによる青少年の健全育成』を目的として設立されております。

今年も、指導者やお父さん、お母さんによる暴力、暴言、叱責や怒号による苦情が日本スポーツ協会、日本スポーツ少年団、宮城県スポーツ少年団、仙台市スポーツ少年団、都道府県市町村教育委員会などへ寄せられております。このような苦情の対応は、すべて日本スポーツ協会や日本スポーツ少年団で対応することとなっております。

自分たちの団を今一度チェックして見てみてください。勝つことだけを目標として、指導者がワンマンになり、母集団（親の会）も指導者に同調して、子供たちのための活動なのに、勝利至上主義になっていることはありませんか？子供たちを勝たせたいという思いが強すぎるあまり、ついつい暴力、暴言、叱責や怒号はないですか？子供の体力に合った段階別の練習をしていますか？試合数は多くないですか？学校の授業などに影響を与えていませんか？等々、一度、考えてみてください。

スポーツ少年団では、「NO！スポハラ」活動を行っています。常に、スポーツ少年団の理念である、「子供たちの健全育成を目的としたスポーツ少年団である」ための努力を、共にしていきましょう。

リーダースクールの歴史を紡いで

仙台市スポーツ少年団指導育成委員会 委員長 西山 和人



最近では、昔の話をすると嫌がられることがありますが、今は「Z世代」と呼ばれる時代です。次は「A世代」になるのでしょうか？まさに初心に帰るようですね！

さて、以前は現在の「泉岳自然ふれあい館」より少し上に「少年の家」があり、そこが仙台市スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール（J・L・S）の館（やかた）でした。

当時は大型観光バス2台で少年の家を貸切状態で利用したり、日独同時交流事業で利用したこともありました。玄関前でのBBQや焼きそば大会、最後の花火大会など多くの楽しい思い出が生まれました。

ドイツとの交流事業といえば、現在リーダー会顧問の佐藤剛先生が40年前、大学生時代にドイツを訪問されました。当時は東西ドイツが高さ3mほどのコンクリートの壁で分断されており、現在では想像しがたい時代背景があります。また、その頃はまだ仙台市の区制が施行されていなかったため、「仙台市スポーツ少年団」からではなく「泉市スポーツ少年団」リーダーとしての派遣でした。

その後、「少年の家」が老朽化のため閉館となり、代わりに「松島自然の家」を紹介されました。

松島自然の家では、満天の星空の下、潮の香りを感じながらバケツ持参で防波堤の上で花火大会。潮騒に合わせて深い眠りにつき、翌朝は海に昇る日の出に手を合わせる贅沢な時間を過ごしました。しかし、これらの楽しい思い出も「あの天災」によってすべて水泡に帰してしまいました。

その後、仙台市スポーツ少年団も3年間にわたりJ・L・Sを中止せざるを得ませんでした。ある日、松島自然の家の先生から衛星電話で連絡があり、「野蒜中学校に仮住まいしているけれど、合宿所に困っているなら『蔵王自然の家』を紹介します」と提案を受けました。これを機に、翌年からJ・L・Sで利用させていただくことになりました。

初めての蔵王自然の家でのJ・L・Sはあいにくの雨で、楽しみにしていた花火大会が中止に。残念に思っていると、職員の先生が「手が届く範囲なら軒下で花火をしてもいいよ」との許可をくださり、感謝しながら線香花火を楽しみました。

その後、「オーエンス泉岳自然ふれあい館」が完成し、現在に至っています。

来たれ！次世代リーダー

『リーダー会』で新しいチャレンジ！してみませんか？

リーダー会ってなに？どんな活動してるの？

リーダー会では、各団のリーダーや団員が集まり、交流や学び合いを通じて「リーダーとして成長すること」を目指して活動しています。

リーダーとしての団活動だけでなく、仙台市スポーツ少年団が主催するさまざまな行事（ジュニア・リーダースクール、入団式交流会、ACP指導など）や、国内外のリーダー交流イベントにも積極的に参加しています。

さらに、小学校を卒業した後も少年団活動に関わりながらリーダーシップを発揮し、団員にとって頼れるお兄さん・お姉さんとして活躍しています。



先輩リーダーからのメッセージ

● 藤原奈々 リーダー（リーダー会 会長）

私たちは、ジュニア・リーダースクールや運動適正テストなどの活動を通して、子どもたちと交流しています。活動の中で、私たちは教える・育てる立場ではありますが、多くのことを学ぶこともあります。毎年恒例のジュニア・リーダースクールでのカレー作りでは、出会ったばかりの仲間たちと懸命に意見を出し合い、役割分担をしてカレーを完成させます。さっきまで会話のなかった子どもたち同士が、あっという間に打ち解け合い、協力して活動している姿を見るのはリーダーとしてとても嬉しいことであり、その一生懸命で純粋な姿を学びたいと毎回感じます。2024年のリーダー会では、「CHALLENGE・みんなで変わる挑戦する」という目標を掲げ活動してきました。全員がリーダーとしての自覚を持ち、リーダー会全体が成長できた一年だったと感じています。これからも多くの子どもたちの健全育成に貢献できるようリーダー会はCHALLENGE！していきます。



● 勢田優里 リーダー

リーダー会の活動は、部活動や学校生活では得られない貴重な経験が自信につながり、大学入試の面接や書類でもアピールに活用できました。大変なこともありますが、他では得られない経験ができ、とても楽しい活動なので、これからも続けたいと思っています。



● 相澤拓弥 リーダー

リーダー会に参加して感じたのは、協力して活動を成し遂げる楽しさと責任感です。子どもたちの体調や体力を考慮しながら活動を進める中で、県外のリーダーとの交流も良い経験となりました。さらに、先輩リーダーからの意見を取り入れ、自分たちの活動を改善する過程も大きな喜びとなっています。



● 中舘結衣 リーダー

リーダー会の活動を通して、多様な人と関わり、多様な価値観に触れることで、新たな気付きや多くの学びを得ることができます。また、活動を継続していくと、日独交流に参加することもできます。この交流では言葉の壁を越えてスポーツの楽しさを共有する貴重な体験が得られます。またリーダー会の活動では、子どもたちの成長に立ち会うことができ、その瞬間に感じる喜びは、言葉では言い表せないほどです。こうした経験を重ねるうちに、リーダー会の沼から抜け出せなくなっていくのです…。ぜひ、私たちと一緒にこの素晴らしい「沼」にハマってみませんか？お待ちしております！



みんなの参加、待ってます！



リーダー会で、先輩や仲間と一緒に楽しく活動してみませんか？

僕たち・私たちの街をいつもきれいに！

仙台市スポーツ少年団では、地域貢献活動の一環として6月と10月を「一斉清掃月間」と定め、各団にご協力いただきながら、地域の清掃を実施しています。

今年も清掃月間に合わせて2回清掃活動を行った団や、日頃の活動場所、学校、通学路などで清掃を実施した団など、多くの団に積極的に参加していただきました。

また、8月にオーエンス泉岳自然ふれあい館で開催したジュニア・リーダースクールにおいても、清掃活動を行いました。今後も引き続き、地域貢献活動へのご協力よろしくお願いいたします。

【令和6年度 一斉清掃実施報告（延べ人数）】



区	実施団数	参加者数	
		団員	指導者・母集団
青葉区	20	359	213
宮城野区	4	61	28
若林区	13	211	148
太白区	8	173	112
泉区	13	171	103
リーダー会	(1)	32	5

合計 58団・リーダー会／1,616名（団員1,007名／指導者・母集団609名）
（※令和6年12月27日現在）



～各団の実施状況や記録写真は「仙台市スポーツ少年団ホームページ」でご覧いただけます～

令和6年度 受賞者紹介

令和6年度 日本スポーツ少年団

■顕彰（個人）：1名

穴戸 幸雄（立町少年野球クラブ）

■顕彰（感謝状）：5名

佐藤 伸光（国見リトルベアーズ）

田中恵美子（向山ファイブパインズ）

遊佐 新（FC.ASK）

大沼 光也（養志館）

志村 和治（泉中央バスケットボール教室）

令和6年度 宮城県スポーツ少年団

■功績賞（団体）：2団

人来田サッカー

高砂拳友会空手道

■功績賞（個人）：仙台市推薦3名

澁谷 進（荒町サッカー）

高橋 優勝（いすみクラブ）

長南 英子（高砂バレーボール）

■功績賞（個人）：種目別協議会推薦4名

佐藤 信三（八幡小少年野球クラブ）

今村 忠夫（長命ヶ丘スカイヤーズ）

若生 康仁（通町ミニバスケットボールクラブ）

米倉 啓子（田子ウイングス）

令和6年 仙台市スポーツ賞

■スポーツ功労賞：2名

丸谷 正昭（川平ストロングパワーズ）

嶺岸 善信（燕沢少年野球クラブ）

■スポーツ優秀賞：2名

小山 凜愛（アスリートミヤギ）

松浦 直翔（燕沢ジュニアバドミントンクラブ）

■功労賞（団体）：4団体

愛子サッカー

愛子

新星クラブ

高森野球

■功労賞（個人）：9名

畠山 徳教（小松島小ベースボールクラブ）

筋内 真人（蒲町野球）

菅原 篤（広瀬）

若生 信広（広瀬）

虎岩 武志（上杉ミニバスケットボール）

大場 克昭（川前ファイヤーズ）

大久 芳輝（八木山柔道）

田中 浩司（新星クラブ）

大本 留美（金剛沢フェニックス）



～スポーツハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが「NO!」という社会をめざして！～



「NO！スポハラ」活動とは？

「スポハラ」が起きないことを目指すだけでなく、「誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会を作る」ための活動です。スポーツに関わるみんなが、「スポハラ」はあってはならないもの、ダメなもの「NO！スポハラ」という価値観をもてるようになることを目指します。根絶宣言から10年が経過した2023年度を『NO！スポハラ』活動を開始する年と位置付け、スポハラについて関心をもってもらう、知ってもらう、学んでもらう、そして、防止に向けた行動ができるようになってもらうために必要な情報発信やイベントを行っています。

少年団の情報は、ホームページ、SNSで
発信していますので、是非ご覧ください。

仙台市スポーツ少年団ホームページ



宮城県スポーツ少年団公式LINEアカウント



宮城県スポーツ協会ホームページ



仙台市スポーツ少年団 登録状況

(1)登録の推移

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
団数	308	302	286	283	268	258	246
団員数	6,728	6,417	5,534	5,641	5,521	5,807	5,926
指導者数	1,808	1,812	指導者 1,220	指導者 1,071	指導者 971	指導者 935	指導者 777
			役員・スタッフ 508	役員・スタッフ 530	役員・スタッフ 528	役員・スタッフ 509	役員・スタッフ 596

(2)令和6年度 登録状況

団数	団員数			指導者数		
	男	女	計	男	女	計
246	4,570	1,356	5,926	656	121	777
				役員・スタッフ 388	208	596

(3)種目団体数

(12種目)

種目	年 度					
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
複合	6	6	6	5	5	5
陸上競技	3	2	3	3	2	2
サッカー	78	77	77	76	72	65
バレーボール	38	37	36	35	36	35
バスケットボール	72	68	66	56	53	54
卓球	1	1	1	1	1	1
野球	78	75	74	72	73	72
柔道	9	7	7	6	6	6
バドミントン	4	4	4	4	4	3
剣道	9	9	9	8	8	6
ラグビー	2	2	2	2	1	2
空手道	16	14	14	14	10	8
ダンススポーツ	1	1	1	1	1	1

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

昨年の新聞報道によると、宮城県内の児童は、小1から中3までの体力が、全国平均より下回っているとのことでした。対策として、生活リズム（早寝、早起き、朝ごはん）の確保と運動習慣が挙げられます。

団員の皆様は、一人でも多くの友達に声掛けし、一緒にプレーして楽しんでください。それが県全体の体力向上にもつながります。

総務企画委員会

担当副本部長 沼田 健一 鈴木 俊彦

常任委員長 紺野 幸雄

委員長 穴戸 幸雄

副委員長 阿部 和美

委員 庄司 淳・村上 文江・中嶋 勉

長内 譲悦・今野 透

令和7年度 本部事業予定

月 日	曜	行 事 名	会 場
4月7日	月	委員総会	カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)
4月12日	土	入団式・交流会	シェルコムせんだい
8月	未定	ジュニア・リーダースクール	オーエンス 泉岳自然ふれあい館
令和8年 2月28日	土	指導者・母集団研修会、 登録説明会	オンワード樫山 仙台ビル

令和7年度 支援事業予定

月 日	曜	行 事 名	会 場
未定	未定	仙台市・白老町 歴史姉妹都市スポーツ 少年団交流会	未定

新規団紹介

令和6年度新規登録団をご紹介します。

チーム名	種目	団員数
①ZELKOVA SENDAI RUGBY CLUB	ラグビー フットボール	18名
②オール宮城野BC	軟式野球	17名
③仙台フィアレス	バレーボール	8名
④ぶれいく Jr	バレーボール	27名
⑤日本空手協会南仙台	空手道	8名

5団78名の新しい仲間を歓迎します。
スポーツを通して交流を深めていきましょう。

令和7年度 仙台市スポーツ少年団登録について

■登録期間（追加登録含む）

4月1日（火）から8月31日（日）まで（※入金完了）
「スポーツ少年団登録システム」からのWeb登録となります。

*ご案内メールが、3月下旬に配信されます。

■令和7年度登録料

団員950円

（日本スポ少：300円・宮城県スポ少：400円・仙台市スポ少250円）

指導者1,900円

（日本スポ少：700円・宮城県スポ少：900円・仙台市スポ少300円）

■単位スポーツ少年団の登録条件

- ①原則として団員（満3才以上）10名以上、指導者（満18才以上）2名以上が登録していること。
- ②「スポーツ少年団の理念」を学んでいる指導者が2名以上登録していること。

お問い合わせ先

仙台市スポーツ少年団

〒980-0012 仙台市青葉区錦町一丁目3番9号
(仙台市役所錦町庁舎3階)

公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団内

☎ 022-262-4180 FAX 022-268-4193

Mail: sendaisporen@leaf.ocn.ne.jp

*電話でのお問い合わせは、9:00～17:00（土・日・祝を除く）をお願いいたします